

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回産業振興条例検討委員会
開 催 日 時	平成29年10月 4日(水) 午前・午後 2時00分から 午前・午後 3時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所201会議室
出席委員(者)氏名	【産業振興条例検討委員】鈴木 努、生田 貴之、近藤 旭、 柏瀬 浩史、太田 久年、関根 俊和、田口 政博、広嶋 秀樹、 蓮見 良平 【委員以外の出席者】 中原 恵人(市長)、島田 勝三(秘書担当)、油川 誠(農政課)
欠席委員(者)氏名	程田 幸秀
担当課職員職氏名	市民生活部 副部長 兼 商工課 課長 山崎 守 市民生活部 商工課 課長補佐 鈴木 康雄 商工課 商工観光係長 柴田 守彦 商工課 商工観光係 主任 小島 慎平
会議次第と会議の公開又は非公開の別	○第3回吉川市産業振興条例検討委員会 1. 開会 2. 議題 (公開) (1) 理念の確認とキーワードの抽出について (2) 意見交換 3. 閉会
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	2人
会議資料の名称	資料1 次第 資料2 理念の確認とキーワードの抽出 参考資料1 市内団体からの産業振興に関する自由意見ヒアリング結果 参考資料2 産業振興条例検討推進チームからの意見 参考資料3 産業振興条例策定スケジュール

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	関根 俊和、広嶋 秀樹
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	<p>○第3回吉川市産業振興条例検討委員会</p> <p>1. 開会 市長挨拶(省略)</p> <p>2. 議題 (1) 理念の確認とキーワードの抽出について (2) 意見交換</p> <p>議題(1)について、前回までの委員会意見と、市内団体のヒアリング等(参考資料1、2)を元に、条例の理念と条例が包含すべきキーワードを資料2のとおりまとめたことを事務局より説明した。</p> <p>資料2で示した条例の理念、キーワードについて、不足している内容、不明な部分があるか?</p>
中原市長	女性の活躍が抜けている。
事務局	託児施設という内容は入っているが、キーワードとして追加する。
中原市長	<p>理念が重要。市と事業者が協働で行うまちづくりを進める条例、ということは、まちづくりを市と産業界が一体となって進める部分に予算を付けるという内容となる。この点についていかがだろうか。</p> <p>例えば、市内の若手就農者と話をしたところ、チャレンジしている農家、後進が「ああいう風になりたい」と思われる事業を支援すると</p>

関根委員	<p>いう形にするのがよいのではないかという意見を受けている。当然、全てを補助することはできない。農業に限ったことではないが、未来を作る事業を支えるべきではないか？</p> <p>その通りだと思う。本気でやっている、現状維持ではなく挑戦をしている部分の支援がよいと思う。一方で、農地を守るという国の方針もある。休耕地を増やさないという考えで、大規模化を進めるところに補助をするのも、農業の支援の在り方として適切と思う。</p>
中原市長	<p>農地整備は自然環境を守るという点、豪雨災害の被害低減の面で水田の役割は大きい。農地集約や大規模化に関しては過渡期にあるため、ゆるやかに進めたい。農業ではもっと思い切った政策も必要との声もある。市内の給食は吉川の米を使っているが、農家の顔も見えるようにしたい。加えて、各小学校の児童が、自分達の給食の米の田植えや稲刈りなどの農作業を体験することで、農業への理解を深め、その魅力を伝える教育もできるとよい。</p>
太田委員長	<p>まちづくりのビジョンはこのように具体的に話をするとわかりやすい。単に「産業」と「まちづくり」と言っても抽象的すぎる。</p>
柏瀬委員	<p>もう一步踏み込んだ話にならないと、各産業が行政とどういった関わり合いができるのかが分からない。</p>
中原市長	<p>条文だけでは、目指す姿のイメージが湧かない。条文とセットで、目指す姿を物語として語るのはどうか。例えば、職住近接のお父さんの1日を示すなど。子供と一緒に朝食を食べ、8時に家を出て10分で通勤、帰宅後はPTAの会合に出て、仲良くなったお父さん同士で飲みに行き趣味の話をする、というようにストーリーを示し、目指すまちづくりのイメージが伝わるようにしたい。</p>

近藤委員	<p>条例は条例として作り、農業の1日、工業の1日、商業の1日といったストーリーをつけるということだろうか？</p>
中原市長	<p>いろいろな職種の連携や、吉川の魅力が散りばめられているものになるとよい。具体的なライフスタイルが見えると、どんなまちにしたいかが分かりやすく、そのために産業振興をするというのも分かりやすい。</p>
事務局	<p>条例は理念を示すものであり、物語的な表現でもよいと思う。施策については、予算化のため、キーワードとして抽出した内容を柱として具体的に作りたい。</p>
中原市長	<p>理念を共有でき、キーワードに関連する内容について協働でまちづくりをできる企業を助け、連携するという理念でまとめたい。</p>
柏瀬委員	<p>まちのために良い理念だと思う。支援の対象が何でもよい、というわけにはいかない。将来の吉川市のために進めるものであるべき。そのためには多くの人の協力が必要で、そのために条例があるという姿が望ましい。</p>
太田委員長	<p>理念についてこれで進めるのでよいだろうか？</p>
広嶋委員	<p>良いと思う。施策のレベルではおそらくどの自治体も似たようなものになるが、全ての自治体が上手くいっている訳ではない。協働を掲げることで他と異なる進み具合や良い結果が望めるのではないかと思う。行政だけ、民間だけ、という施策推進は、観点がずれていたりまとまりに欠けたりで上手くいかないケースが多いと感じている。</p>
太田委員長	<p>協働という意味をどう捉えたらよいだろうか？定義があるのか？</p>

事務局	<p>市民参画条例の中では、当事者として両者が入っていき共に責任を負って一緒に作り上げる、という意味で使われている。</p>
太田委員長	<p>吉川の産業振興でいうところの「協働」の意味をきちんと作っておく必要がある。全面的な共同作業なのか、一致する部分で協力をするのか等、解釈が分かれるおそれがある。</p>
事務局	<p>一般的には商工業の支援策のために産業振興条例を作るが、今の理念ではまちづくり条例とも解釈できる。この点も議論頂きたい。</p>
中原市長	<p>どんな仕事でも個人の幸せの追求に帰結し、それは「ひとづくり」や「まちづくり」につながると考えている。各企業もどのように社会貢献できるかと捉えなおしてもらい、共通項において連携するという宣言であるとよいと思う。</p>
近藤委員	<p>まちづくりに軸が置かれているのか、産業振興なのかがわかりにくいと感じる。他の自治体の条例には、市民の役割もあるため、その観点からはまちづくりとも取れる。もう一点、キーワードにポイントがなく雑多に感じる。例えば、衣食住のようにカテゴライズしないと分かりにくい。その中で施策を取捨選択する必要があると思う。似たような言葉も多いため、どのようにまとめていくかの議論も必要。</p>
中原市長	<p>究極的にはまちづくりと考えている。産業振興が手段で、目的はまちづくりにある。他のまちは産業振興が目的となっている。</p>
近藤委員	<p>産業振興がベースであれば、市民の責務は必要ない。産業をベースに引っ張っていき、市民の幸福感を作るという捉え方になる。逆に他の自治体の条例に違和感がある。</p>
中原市長	<p>市民、つまり消費者側の視点は議論から抜けていた。市民の責務に</p>

	<p>ついて言及する必要はないと考えていた。</p>
事務局	<p>他の自治体の条文では、市民の責務は「地産地消に努める」、「地元の商品の購入に努める」といった程度にとどまっている。</p>
中原市長	<p>それは、行政や事業者の側が努力して実現すべき内容だと思う。</p>
鈴木委員	<p>市民の責務に言及する必要はないと思う。市と事業者が作り上げるという捉え方のほうが、シンプルでわかりやすい。</p>
田口副委員長	<p>市民としては各自治会を通した活動があり、様々な努力は既に行っている。まちづくりとしては当然必要な動きであるが、産業振興とかみ合うかはわからない。</p>
中原市長	<p>他の自治体で記載されている「市民の責務」が持つの意味合いについては、宿題とする。学識経験者にも聞いてみたい。</p>
太田委員長	<p>理念については産業振興を通してまちづくりをするということでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
事務局	<p>では、まちづくりのために産業振興を推進するという理念で、キーワードを元に条文を作成したい。</p>
中原市長	<p>先に近藤委員から投げかけられた、キーワードの分け方についてはどうだろうか？</p>
近藤委員	<p>例えば、「産業環境整備」という中には農商工すべての内容が入っている。産業ごとに提示したほうが分かりやすいと思う。吉川の各産業</p>

事務局	<p>の特長も分かりやすくなる。</p> <p>先に柏瀬委員からあったように、農商工でそれぞれの物語を作り、それぞれの分野のキーワードを整理して、条文を示すというスタイルがよいだろうか？</p>
中原市長	<p>案として、農商工3つのストーリーを作って示すパターンと、他の自治体のように産業全体をあらわすパターンの両方を作るのではどうだろうか？</p>
田口副委員長	<p>第1部、第2部、第3部として農商工それぞれの1日を描き、最後に条文が出てくるという形式がよいと思う。具体例の後に吉川が目指す方向が示されるというのが分かりやすい。</p>
中原市長	<p>ストーリーがあまりに長大になっても困るので、農商工でそれぞれA4×1枚くらいのコラム的なストーリーがあり、最後に条文が付くのがよいのではないか。</p> <p>なお、キーワードについてはどうだろうか。漏れがあるとストーリーにも反映されない。</p>
事務局	<p>細部も確認頂き、漏れがあれば改めてご連絡頂きたい。順番や表現は事務局にて整理を行う。ストーリーと条例、具体的施策として案をまとめたい。</p>
蓮見委員	<p>社会的に課題と言われている内容は全て入っていると思う。銀行で力を入れている内容と共通する部分も多い。</p>
中原市長	<p>そのほか、施策についての意見も頂きたい。例えば、中小企業退職金共済では転職時に掛金を持ちこせないといった課題もある。</p>

広嶋委員	似たような制度として個人型DCがある。中小企業への制度の周知が必要かもしれない。企業型DCもあるが、中小企業退職金共済とどちらを取るかは事業者の判断となる。
近藤委員	吉川市独自の補助があると企業型DCへの移行も進むかもしれないが、転職時に退職金が欲しいという社員もいるかもしれない。
事務局	他にはどうだろうか？既存の施策についてでも構わない。
中原市長	では、高齢者の人材バンクについてはどうだろうか？単純労務目的ではなく、大手企業でキャリアを積んで定年退職した人に登録してもらい、市内企業に派遣して専門的知識や人脈を活用してもらおうといったニーズはあるだろうか？
事務局	働きたいという高齢者のニーズはあるので、受け入れたいという企業があるかどうかポイントである。
柏瀬委員	最初の派遣は無料でないと思う。数回は市で費用を負担してもらって、価値があると分かった時点で個別契約など企業が負担する形にするのがよい。
近藤委員	市でやるのか、民間の派遣会社に委託するのかなど、やり方の工夫も必要と思う。
広嶋委員	企業が求めているのは即戦力となる人材。一方、そういった人材を抱えられる体力が十分でない企業が多いのも事実。やはり最初は無料での派遣というのが条件ではないだろうか。
中原市長	人材確保も厳しいと聞く。

柏瀬委員	わずかな時給の差で周辺地域に人を取られてしまっている。地元で働くメリットを作らないといけない。
事務局	人材確保のための施策、地元雇用を推進する施策、それぞれが必要と考える。産業フェア等の機会を活用したPRが必要である。
中原市長	新卒者の雇用では、市の魅力と合わせて人材を引き付ける必要があると思う。
太田委員長	今年、吉川で合同就職面接会を行うが、毎年やっているのか？
事務局	今年が初めてである。主に中途・女性を対象と考えている。
田口委員長	通常の就職面接会とは逆に、吉川で働きたいという人を集め、市内企業が自社に合った人材を探して動くという形式はどうだろうか？地元で働きたいが、どんな会社があるかわからないといった事情もあると思う。
事務局	市内にどんな企業があるかの情報は不足していると思う。企業を知ってもらう機会を増やす必要があることは認識している。
田口副委員長	大学新卒者は、遠方でも名前の知られた企業を選んでしまう。そうではないライフスタイルがあることを示す必要がある。
中原市長	まさにそこが産業振興条例の狙いである。
太田委員長	議論が戻るが、ライフスタイルを示すのに農商工の3つの括りで足りるのか？
柏瀬委員	示すのは3本として、その中で環境の話が出てくるものがあったり、

<p>近藤委員</p> <p>事務局</p> <p>中原市長</p> <p>田口副委員長</p> <p>中原市長</p> <p>田口副委員長</p> <p>太田委員長</p> <p>事務局</p>	<p>共通部分があったり、というものでよいと思う。</p> <p>現在出ているキーワードは理念的なものと具体的なものが混在しているため、もう少し仕分けが必要と感じる。</p> <p>キーワードの精査と整理を進める。</p> <p>条例は理念として、施策として具体的なものを示すようにしたい。</p> <p>条例と施策は同時に出すのか？</p> <p>施策と実行計画は完璧なものとして出すのは難しいかもしれない。</p> <p>条例を作っただけで終わりではない。条例制定から速やかに実行計画を検討する必要がある。</p> <p>条例の理念は協働であるが、キーワードには「支援」という文言がある。行政から企業への一方的な補助にも捉えられかねないので、支援ではなく、「推進」等の言葉を使ったほうがよいと思う。</p> <p>了解した。事務局で検討する。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成29年10月18日</p> <p>署名委員 関根俊和（自署） 署名委員 広嶋秀樹（自署）</p>	